

災害廃棄物の処理に関する協定を締結

長崎県環境保全協会（西川勝則会長）、長崎県環境整備事業協同組合（山口康児理事長）と市は7月14日、災害時における災害廃棄物の処理等の協力に関する協定を締結しました。

この協定は大規模な災害が発生した際に大量の災害廃棄物が発生することを想定し、廃棄物の撤去や運搬、分別を迅速かつ適正に行うため締結されました。

同協会の西川会長は「災害は突如起きるもの。迅速に対応できるよう、行政と一体となって協力していきたい」と話しました。



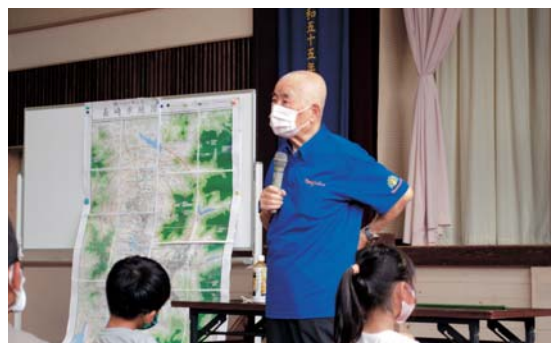
西川会長（左）と山口理事長（右）

星鹿小 平和を学ぶ

市内の各小・中学校では6月から7月にかけて平和学習に取り組んでいます。

星鹿小学校では7月12日、被爆した経験を持つ森田宏さん（川棚町）を招き、平和について考える学習会を実施しました。

森田さんは、小学5年生で迎えた76年前の8月9日、母親の畑仕事を手伝っていた際に被爆。戦時中と現在の生活の違いなどを話し、戦争の悲惨さを伝えました。児童たちは「戦争はやってはいけない」「死者の数に驚いた」など感想を発表し、平和への誓いを新たにしました。



アジフライモニュメントを寄贈

鷹島石工組合（村田茂實代表）から「アジフライの聖地 松浦」石工モニュメントが7月28日、市に寄贈されました。

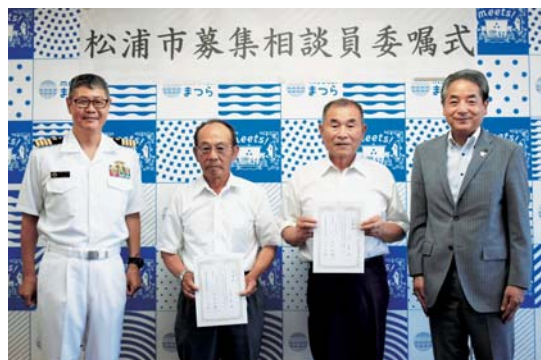
同組合は、市内4つのアジフライモニュメントを製作しており、「アジフライの聖地 松浦」のさらなるPRにつなげて欲しいとの思いから市に寄贈。鷹島町で採掘される玄武岩「阿翁石」から製作されたもので、総重量約190kg、円形部直径55mmの石工モニュメントが庁舎北側ロータリーに設置されています。



自衛官募集相談員2人に委嘱状を交付

自衛官募集相談員委嘱状交付式が7月27日、市役所で行われ、川上幸孝さん（御厨・木場）、吉永守さん（調川・上免）に委嘱状が交付されました。

同相談員は、7月1日から令和5年6月30日までの2年の任期中、自衛官志願者に関する情報提供や自衛隊地方協力本部が行う募集のための広報活動などの援助、協力をを行います。また、防衛意識の普及などにも貢献していきます。



▲左から江上本部長、吉永さん、川上さん

まちの話題

夏休みの思い出づくり

夏休みスペシャル「まるごと一日お楽しみDAY 2021」（文化会館主催）が8月8日、文化会館で開催されました。

イベントでは、夏休みの工作に適したハンドメイド雑貨やアクセサリーづくりのワークショップ、バレエや少林寺拳法などの体験教室が開催されました。

また会場では、市内外の約60店舗が出店し、各ブースが設けられるなど家族で1日楽しめるイベントになりました。



納税組合功労者表彰式

納税組合功労者表彰式が8月2日、市役所で行われました。この賞は、長年にわたり納税組合の発展、納税思想の普及および納税成績の向上に努め、その功績が顕著であった人に贈られるものです。

この日は、納税組合長を15年務められている川上郁子さん（福島・日の浦）、松園作好さん（福島・福崎）の2人に表彰状、組合長を14年務め退任された吉田恵美子さん（福島・伊万里釜）に感謝状が贈呈されました。

▶左2番目から松園さん、川上さん、吉田さん



夏の味覚を求めて「松浦の極み」フェア

御厨ぶどう、アールスメロンが、本市産品の核となる戦略産品「松浦の極み」に認定され、認定後、初となる販売会が開催されました。

「松浦の極み」には、魚介類や果物をはじめ、石工品など12品が認定され、本年度から「松浦の極みフェア」として販売会やイベント等を実施しています。

御厨ぶどうドライブスルー販売会は、7月下旬から8月上旬のうち4日間開催されました。



今年もみずみずしく育ったぶどうを求めて、購入者の車が絶え間なく来場し、予定していた販売数1,700箱が売り切れました。

松浦メロンまつりは8月8日、道の駅「松浦海のふるさと館」で開催されました。今年は天気に恵まれ、大玉で網目模様が美しいメロンが収穫されました。この日は、早朝から多くの購入客が訪れ、用意された400ケースが完売。

両販売会とも、大盛況のうちに終了しました。

